

2016年6月号 / No.205 / 平成28年5月13日発行



# 野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



(イラスト メジロ：中村さやかさん作)

## 野鳥さが 205号 主な内容

- 役員会報告-----2ページ
- 唐津市中里地区の風力発電施設整備について-----4ページ
- 有明海の満潮時刻-----4ページ
- 平成27年度 愛鳥モデル校指導報告-----5ページ
- 各地の観察会報告-----6ページ
- 皆さんからのおたより-----11ページ
- 皆さんからの野鳥&生きもの情報-----16ページ
- さやかの「フィールドノート」-----17ページ
- 近隣地区の観察会情報-----18ページ
- 観察会会場までの案内-----19ページ
- 観察会などのお知らせ（2016年5月下旬～7月）-----20ページ



## 役員会報告

(事務局:島田洋)

### ●2015年度第9回 & 2016年度第1回役員会

【日 時】2015年度第9回:3月20日(日) 2016年度第1回:4月17日(日)

【参加者】(3/30)宮原明幸、中村さやか、中原正義、田中丸雅雄、橋本泰博、蒲原留美、江里口立子、青柳良子、島田洋 (4/17)宮原明幸、佐久間仁、橋本泰博、加藤芳隆、中村さやか、蒲原留美、青柳良子、島田洋

【主な話し合い項目】 (既に終了した案件については割愛したものがああります)

#### (1) 役員人事

- ① 4月から事務局長が島田から中村さやかさんに交代。
- ② 役員人事の充実・増員を図る。

#### (2) 九州沖縄ブロック大会について

4月9日~10日の大会に佐賀県支部からは5名が参加した。

#### (3) 県森林公園について

- ① 3月に森林公園利用者意見交換会があり、当支部も出席し、意見を述べた。
- ② 森林公園の一部は、もともとは石炭のボタ(石炭採掘に出る捨て石)の捨て場所であった。このため樹木が存分に根を張ることができない事がある。
- ③ 野鳥の会より樹木の植栽に関する意見を提出した。
- ④ 森林公園の工事はまだまだ続く。遊具と芝生ばかりの公園になってしまいそうである。

#### (4) 唐津市における新たな風力発電計画について(佐久間氏より情報提供)

- ① 西九州風力発電(株)が、唐津市屋形石地区に風力発電施設1基を建設予定である。
- ② 発電規模は1990kwである。自主アセスを行うとの事。
- ③ 野鳥に関しては、2016年度から年6回の調査が行われる。
- ④ 西部環境(株)などが、アセス業務をする予定である。

#### (5) 支部総会について

5月29日に有田龍門峡山の家で支部総会を開催する。

#### (6) 傷病鳥獣の一時的な預かりりにについて

- ① 佐賀県より傷病鳥獣の一時的預かりりにについて相談があった。
- ② 6月ごろは、巣から落ちた野鳥のひなが、捨てられてくることが多い。
- ③ 平日であれば、行政が対応可能であるが、土日は対応できない。
- ④ 土日祝日は野鳥の会において捨てられたヒナの一時保護に協力をお願いしたいとの事。
- ⑤ この件においては、支部役員の一部が協力する。



(7) 観察会時の保険について

- ① 探鳥会保険は「追加プランB」に加入する。
- ② 探鳥会のリーダーに関しては「ボランティア活動保険」加入を考えたが、入会手続きが滞り、保留となった。

(8) その他、会員増への取り組み、行事予定などについて話し合いを行った。

## 支部総会開催のお知らせ

2016年度会総会を下記日程で開催します。2015年度の成果や反省を踏まえ、今年度の活動方針を決める大切な場です。これからも佐賀県支部を盛り上げていくためにも、ぜひ、多くの皆さんの参加をお願いします。

※

【日時】5月29日(日) 10:00~

【場所】有田町の「竜門峡キャンプ場・山の家」2階講習室

※当日は08:00から有田竜門峡観察会を行います。観察会終了後、引き続き御参加下さい。また、参加される方は「支部総会議案書」をご持参下さい。



## 唐津市中里地区の風力発電施設整備について (副支部長:佐久間仁)

3月2日に標記計画について一回目の相談を受けましたが、その時点では日程など具体的内容まで詰まっていなかったため、その後の作業を受けて今回、あらためて相談を受けましたので、その概要を報告します。

【期日】2016年4月15日(金) 17:00~18:00

【場所】唐津市内(JR唐津駅近くの喫茶店)

【出席者】・西日本風力発電(株) 久原代表取締役(弁護士)  
・笠原建設(株) 犬塚常務取締役、古川営業部主任  
・佐賀県支部 佐久間

【説明を受けた主な内容】

- ・事業主体として、新たに会社を立ち上げる。(4/18にも登記予定)  
笠原建設や松浦重機、市民風力発電(札幌)などが主力株主となる見込み。
- ・設置予定場所は唐津市中里地区。中里集落から直線距離で約600m離れた地点にあるK社所有地(現 資材置き場)を、九州電力の電気買取制度での最長期間に合わせて、20年契約で借用予定。  
なお、入野地区(旧肥前町)にも同様の整備構想を有するが、中里地区を先行して作業。
- ・地元区長(新・旧)には事業内容を説明して、既に内諾済み。
- ・今後のおおまなかスケジュールとしては、



H28 (2016) 年 5 月 地元説明会

H28 年 7 月～H29 年 6 月 風況調査、鳥類調査

※代替できるデータがあれば、風況調査は実施しない可能性もありとのこと。

H29 年 7 月～ 諸事務手続き

H29 年 10 月～ 機材発注 (受注生産のため、約一年を要する見込み。)

H30 年 10 月～ 本工事着工 (三ヶ月程度を要する見込み。)

H31 年 3 月までに本格稼働開始。

- 予定事業規模：出力 1,990kw 発電規模の施設。  
(国では 7,500kw 以上、県は 3,500kw 以上の施設が環境アセスメントの対象)
- 国や県からの助成金等は一切ない。
- 鳥類調査：東洋設計 (株) か西武環境調査 (株) に依頼する方向で検討中。  
調査は H28 年 4 月～29 年 3 月にかけて、二人で一日間の調査を 6 回実施予定。  
実施時期：4 月下旬、5 月下旬、6 月下旬、9 月下旬、12 月上旬、3 月中旬を想定。

【佐久間からの助言等内容】

- 主にタカやツルの渡り時期を念頭に設定するのであれば、6 月下旬の調査を 11 月上旬かその前後に変更されてはどうか。 調査業者の方の意見も聞いてみてほしい。
- 天候等による出現種や出現数のブレを考えれば、「2 人で一日調査」するよりも「1 人で二日間、数日間間隔を置いて実施」するほうが、誤差を小さくできると思う。
- GW 明けに予定の地元説明会資料を後日頂戴したい。



## 有明海の満潮時刻 (白石・住ノ江港)



5 月	14 (土)	2:34/4.3m	14:40/3.8m	6 月	4 (土)	8:12/5.5m	21:02/5.7m
	15 (日)	3:52/4.2m	16:29/3.8m		5 (日)	9:01/5.5m	21:53/5.7m
	21 (土)	8:38/5.2m	21:21/5.3m		11 (土)	1:06/4.8m	12:57/4.4m
	22 (土)	9:13/5.3m	21:57/5.3m		12 (日)	1:47/4.6m	13:53/4.1m
	28 (土)	0:49/4.8m	12:44/4.5m		18 (土)	7:26/5.0m	20:18/5.1m
	29 (日)	1:40/4.7m	13:50/4.3m		19 (日)	8:07/5.2m	20:59/5.3m
					25 (土)	11:56/5.1m	
					26 (日)	0:39/5.2m	12:41/4.9m

### 満潮時刻と潮高をたしかめてから行こう！

- 東よか海岸  
潮高 5.0m 満潮の 2 時間前くらいがベスト！
- 鹿島新籠海岸他  
潮高 4.0m 満潮の 1 時間前後がベスト！

満潮時には、残された干潟に鳥が集まり、近くで見やすい状態になります。ただし、小潮だと遠すぎるし、大潮になると干潟が水没してしまって、鳥が移動してしまいます。)





# 平成27年度 愛鳥モデル校指導報告

(報告者：馬場 清)

先日は、ぼくたちのために  
野鳥学習会をしていただき  
ありがとうございました。  
学習会でわかったことは、小さ  
い鳥なのに鳥を食べる種類  
がいることがわかりました。  
これを聞いてぼくは少しこわい  
なと思いました。  
また観察会でお世話  
になります。  
東山代 5年組 刈 琉雅

佐賀県野鳥の会のおみなさんへ  
東山代には、どんな鳥がいるか不思議に  
思っていました。でも、知っている鳥も、知らない  
鳥もたくさんいることがわかりました。  
東山代町の鳥のためのユキなごが  
たくさんあると思いました。  
これから、鳥の糞や巣の様子などに、  
気をつけながら、見ていきたいです。  
鳥も生きているので、人間と同じだと  
よくわかりました。  
本当にありがとうございました。  
東山代小学校 5年組 馬場 清

昨年度の愛鳥モデル校指定校の伊万里市立東山代小学校からお礼状とともに、生徒さんが書いた感想文や、野鳥新聞を送っていただきましたので、ごく一部ですが、紹介します。野鳥新聞は力作ぞろいで、すべて紹介できないのが残念です。

<p><b>鳥新聞</b></p> <p>水辺の鳥のしくみ 水辺の鳥は水草や水中の生き物をたべていることが多く、口ばしのはばが広く、正に水かきがある。水中のプランクトンや小さな魚を捕まえるように、水かきで水を動かして、プランクトンや小さな魚を捕まえる。羽も多く、水かきで水を動かして、プランクトンや小さな魚を捕まえる。</p>	<p><b>東山代のちかくの鳥</b> トビ・カラス・スズメ・ハクセキレイ・ツツ・ウカラ・スワミ・コゲラ・ツ・ウビ・タキ など</p> <p><b>長浜かんとく・有田川の鳥</b> ソル・モウキンレイ・ミサホ・カモメ・アオサギ・モズ・コサギ・カルカモ・ヨツガモ・キンクワハヅロ・ウミネコ など</p> <p>東山代の近くだけで、たくさんの鳥がいました。</p>	<p><b>野鳥新聞</b></p> <p>学習会で東山代町の近くで見られる鳥を教えてくださいました。</p> <p><b>観察会</b> たくさん鳥が見られました。ソルは見られなかったけれど、カモもたくさん見られました。カモは何しゅるいかにいて、どれも少しずつおもしろかったです。</p> <p><b>巣箱づくり</b> 木で巣箱を作りました。金ツチで指をうつすところになりました。くちかき出しして大変でしたが、完成したときはとてもうれしかったです。</p> <p><b>本調子</b> 本で野鳥のことを調べました。鳥のくちばしは、たぐよんのはたらきをしています。魚をつかむ。巣作りにつかう材料をほくはく。虫をつかむ。</p> <p><b>巣箱にすまわす</b> ① 巣箱にすまわす ② 鳥は安全かどうが見ます。 ③ ハクセキレイは、かきやすいので、カップルになります。</p>
<p>鳥のくちばし 鳥のくちばしは、たぐよんのはたらきをしています。魚をつかむ。巣作りにつかう材料をほくはく。虫をつかむ。</p> <p>鳥のくちばしは、たぐよんのはたらきをしています。魚をつかむ。巣作りにつかう材料をほくはく。虫をつかむ。</p>	<p>2016年 3月2日(火) 発行 野鳥 混希</p>	<p>2016年 3月2日(水) 発行 長谷部 野鳥香</p>
<p>鳥のくちばしは、たぐよんのはたらきをしています。魚をつかむ。巣作りにつかう材料をほくはく。虫をつかむ。</p> <p>鳥のくちばしは、たぐよんのはたらきをしています。魚をつかむ。巣作りにつかう材料をほくはく。虫をつかむ。</p>	<p>鳥のくちばしは、たぐよんのはたらきをしています。魚をつかむ。巣作りにつかう材料をほくはく。虫をつかむ。</p> <p>鳥のくちばしは、たぐよんのはたらきをしています。魚をつかむ。巣作りにつかう材料をほくはく。虫をつかむ。</p>	<p>鳥のくちばしは、たぐよんのはたらきをしています。魚をつかむ。巣作りにつかう材料をほくはく。虫をつかむ。</p> <p>鳥のくちばしは、たぐよんのはたらきをしています。魚をつかむ。巣作りにつかう材料をほくはく。虫をつかむ。</p>





## 各地の観察会報告



### ■佐賀県林業試験場観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成 28 年 2 月 7 日

【参加者】青柳良子、江口若奈、岡崎章、加藤芳隆、蒲原留美、小松茂子、小松常光、佐久間仁、澁江拓司、島田洋、高山英一、田中照美、長岡保、永島博、橋本泰博、八木ひろみ、久富文江、福田康典、宮原瑠璃子、宮原明幸（案内役）

【観察された野鳥】キジバト、トビ、ハイタカ、チョウゲンボウ、モズ、カササギ、ミヤマガラス、ハシボソガラス、キクイタダキ、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、トラツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、イカル、アオジ

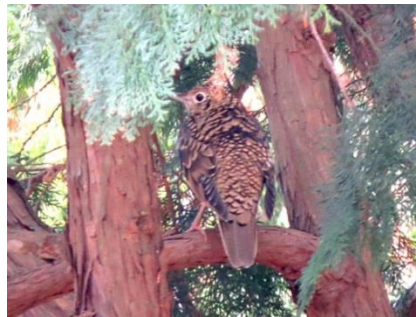
【案内役からの一言】

真っ白に霜の降った寒い朝でしたが 20 人もの参加者でした。鳥種より人が多いのではと危惧致しましたが 25 種確認出来ました。

エナガやヤマガラは間近で可愛い姿を見せてくれましたし、なかなか人目に付かないトラツグミも出てくれ、皆さん大満足の観察会でした。



観察会の様子



トラツグミ

（写真提供：八木ひとみさん）



オウレンの花

### ■東よか干潟（大授搦）観察会報告（佐賀市）

①【日時】 平成 28 年 2 月 11 日

【参加者】加藤芳隆、岡崎章、澁江拓司、甲木弘美、津山悦子、佐々木純子、久富文江、田中千恵子、西川正記、青柳良子、田中丸雅雄（案内役）

【観察された野鳥】ツクシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、オオハクチョウ、アオサギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、ミヤコドリ、シロチドリ、メダイチドリ、ダイゼン、トウネン、ハマシギ、アオアシシギ、ダイシャクシギ、ハウロクシギ、ズグロカモメ、ユリカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、ハクセキレイ、ホオジロ、ツグミ、スズメ、ハシボソガラス

【案内役からの一言】

朝、冷え込むものの、風もなく晴れの好天である。堤防を下りるとズグロカモメ、ツクシガモ、ダイシャクシギが干潟の上で採餌中。中央部に移動し、沖合のカモ類を見ていると、オオハクチョウを発見する。日本最大の鳥だけあって、ツクシガモ

より断然大きい。最近有明海北部にたびたび出現しているようだ。

頭の黒くなったズグロカモメ（夏羽）が1羽現れる。

好天に恵まれ、海岸はバードウォッチングツアーの人や写真撮影の人など、多くの人で賑わった。

②【日時】 平成28年3月13日

【参加者】宮原明幸、原秀親、加藤芳隆、古賀しげ子、橋本泰博、田中照美、友岡周一、松原忠雄、松原はま子、青柳隆、青柳良子、吉澤進、西川正記、藤徳子、藤裕一、徳淵義実、古賀郁香、久富文江、永島博、中村さやか、中村弘一郎、中村翠、甲木弘美、中島修、中島由美子、津山悦子、峰松小百合、佐々木純子、江口富美子、中島さやか、大川幸子、大川裕也、田中丸雅雄（案内役）

【観察された野鳥】カワウ、アオサギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、ツクシガモ、コガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ミサゴ、トビ、ミヤコドリ、シロチドリ、メダイチドリ、ダイゼン、ハマシギ、オバシギ、エリマキシギ、オオハシシギ、ツルシギ、アオアシシギ、タカブシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、ズグロカモメ、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

【案内役からの一言】

集合時間が午前10時と遅かったためか、33名の  
大勢の人が集まった。数日前に迷鳥ハシボソカモメ  
出現の情報があり、今日のテーマは「カモメを見よう」  
とする。頭の黒くなったズグロカモメがずいぶん  
増えた。半分ほどが黒い頭に。

ユリカモメの頭はまだ白いままです。

上空で「ピッピッピッ」の鳴き声。タカブシギだ。

干潟のハマシギの群れの中に下りる。

ここでは珍しい。ハシボソカモメはずいぶん探したが、残念ながら見つけれない  
まま終了した。



（写真提供：中村さやかさん）

③【日時】 平成28年4月24日

【参加者】橋本泰博、加藤芳隆、大川英樹、中島修、中島由美子、千住利夫、徳淵義実、宮原明幸、甲斐恵子、清水恵弘、澁江拓司、岡崎章、原秀親、長岡保、長岡千陽、中尾祥子、中村さやか、吉澤進、丹羽昭一、稲垣恵理、古賀郁香、大川幸子、江口富美子、八木ひとみ、蒲原留美、宮崎八州雄、田中丸雅雄（案内役）

【観察された野鳥】ダイサギ、アオサギ、クロツラヘラサギ、ツクシガモ、コガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、ミサゴ、トビ、ハヤブサ、ミヤコドリ、シロチドリ、メダイチドリ、オオメダイチドリ、ムナグロ、ダイゼン、キョウジョシギ、トウネン、ウズラシギ、ハマシギ、サルハマシギ、コオバシギ、オバシギ、ヘラシギ、オオハシシギ、シベリアオオハシシギ、ツルシギ、アオアシシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ、

ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、ズグロカモメ、コアジサシ、ヒバリ、ツバメ、ハシボソガラス

【案内役からの一言】

天候は小雨模様でしたが、開催を決めました。  
開始時刻には東京からの参加者を含む 20 名が集まる。  
前日に今春初めてのシベリアオオハシシギが出たので、  
本日のテーマを「シベリアオオハシを見よう」とする。  
シギ・チドリの渡りのピークを迎え、干潟には 1 万羽  
を超える鳥たちが広がる。



(写真提供：中村さやかさん)

満潮時に中央部付近で観察していると「ヘラシギが  
いる」との声。 柵の前 20m、ハマシギの群れの中  
を右に左にと動き回る。 全員ヘラシギの前に集合して注視する。 潮が引き始め  
鳥合わせをしていると、シベリアオオハシシギの声。 今度はこちらを注視。  
本日のテーマはやっと達成される。  
珍鳥 2 種を見つけてくれた宮崎さんに感謝です。

(編集係より) 中村さやかさんの「日本野鳥の会佐賀県支部ブログ」に支部会員の方から  
投稿されたヘラシギの動画が掲載されています。(ブログの日付は 4/26)  
すご〜くかわいい動きです。是非ご覧ください。下記のアドレスです。

「 <http://blog.goo.ne.jp/sayatit2000> 」

■小城公園観察会報告(小城市)

【日時】 平成 28 年 3 月 20 日

【参加者】青柳良子、青柳隆、友岡周一、宮原明幸、中島修、中島由美子、川原直嗣、  
松原忠夫、松原はま子、高山英一、徳淵義実、岡崎章、澁江拓司、中原正義、永島  
博、原秀親、荒木潔枝、田中照美、江口富美子、中村さやか、中村弘一郎、田中  
義一、江里口立子、江里口武志、津山悦子、吉澤進、大川幸子、大川裕也、久富  
文江、島田洋、田中丸雅雄、城島英之、加藤芳隆、古川昌高、蒲原留美(案内役)

【観察された野鳥】カイツブリ、アオサギ、コサギ、ゴイサギ、ミサゴ、キジバト、  
ドバト、コゲラ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ルリビタキ、シロハラ、ツグミ、  
ウグイス、シジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、メジロ、ミヤマホオジロ、アオジ、  
カワラヒワ、アトリ、イカル、シメ、スズメ、ムクドリ、カササギ、ハシブトガラ  
ス、ハシボソガラス、ソウシチョウ、カワウ、アオバト、ツバメ

【案内役からの一言】

前日までの曇天が嘘のような晴天となり、心地よい  
観察日和となりました。

以下は観察コース(1時間半)です。

鳥居よりスタート ①公園内西側にある大きい池(カイツブリ)、②梅の広場(ツグミ、ヒヨドリ、シジュウカラ、ジョウビタキ)、③上階の石畳の広場(アトリ、シ



(写真提供：中村さやかさん)





メ)、④さらに上階の広場(アトリ、シロハラ、ウグイス、エナガ、ヤマガラ、コゲラ)、隣接する高校のグラウンドを左手に半周回し、⑥階下の池へ(ゴイサギ、メジロ、ミヤマホオジロ)、池正面の階段を昇り再度公園内⑦碑のある広場へ(イカル、アオバト)、公園内をとおる鳥居へ。  
全体的に、渡る前の鳥と春先に見られる鳥の両方を観察することができました。

<出来事>

⑥の池から公園を見ていた大川君がアオバトを発見! 再度、皆で⑦の広場へ。アオバトに皆のテンションはぐんと上昇、辺りを「たくさんの眼」で探します。残念ながらしばらく待ってもアオバトには会えず、皆で口々に「若い眼」を羨ましがりながらの解散となりました。若さの素晴らしさを改めて実感した出来事でした。今回、初めて案内役をさせていただきましたので、不手際もあったかと思いますが、たくさんの方にお見えいただきとても嬉しかったです。ありがとうございました。小さい公園です。またお散歩がてら足を運んでいただければ幸いです。

## ■石井樋公園観察会報告(佐賀市)

【日時】 平成28年4月17日

【参加者】宮原明幸、山田茂、宮崎浩二、田辺憲子、徳淵義実、永島博、古賀郁香、深村徹、加藤芳隆、江口富美子、福田康典、本山栄造、蒲原留美、島田洋、大川幸子、佐久間仁、柴原とき子、青柳良子(案内役)

【観察された野鳥】コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、ミサゴ、ハヤブサ、バン、オオバン、アマツバメ、イソシギ、キジバト、ヒバリ(声)、ツバメ、ヒヨドリ、ツグミ、ウグイス(声)、ツリスガラ、ホオジロ、アオジ、アトリ、カワラヒワ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

【案内役からの一言】

水ものがたり館主催の観察会に合流し、総勢23名でした。3日前(14日・夜)発生した「熊本地震」の余震が続く中、低気圧通過のため「はげしい雨」の予報もあって「観察会はできないかも・・・室内でDVD鑑賞と鳥談議かな・・・」と考えていたところ、ちょっと風は強かったもののきれいな青空が広がってくれました。後半「カワセミの塗り絵」をする予定だったので、カワセミが現れてくれるのを期待したのですが、川の水は昨夜の雨で濁っていて流れも早く、カワセミが魚をみつけることはとても無理な状況でした。鳥の姿はほとんどなく、遙か彼方のカルガモをスコープで確認。「今日はダメですね～」とあきらめムードが漂っている中、枯れたヨシ原の中に動くもの発見! 「ツリスガラで～す!」と、宮原さんの嬉しそうなお声。小さくてみつけにくかったのですが、それでもスコープで捉えることができ、皆さんかわるがわる覗きこみました。「かわいい～!」「小さいね～!」「凶鑑より色が薄いね～」「目の所の黒いライン 見えた～?」などのちょっと興奮(?)した声が飛び交いました。たった11cmの小さな体で、もうまもなく中国の奥地へ旅立って行くのかと思うと「野鳥の能力のすごさ」に改めて感動させ

られました。

室内に戻り、鳥合わせをしたら、何と 24 種を数えました。たくさんの目があると多くの鳥を見つけることができますね。

いつの間にか風も弱まり、暖かな日差しの中、足元には可愛い花がいろいろ咲いていました。

セイヨウタンポポ、オドリコソウ、ムラサキサギゴケ、トキワハゼ、マツバウンラン・・・カラスノエンドウ・スズメノエンドウ・カスマグサの違いを比べてみたりベニシジミ、アオスジアゲハ、モンシロチョウなど・・・多いに「春」を感じた観察会でした。



ツリスガラ

(写真提供：加藤芳隆さん)

### 観察会以外の支部行事や他団体への協力についての報告

1月31日に開催された伊万里市歴史民俗資料館主催の観察会の様子です。伊万里市の山崎章弘さんをはじめ支部会員数名の方が案内役として協力しました。

伊万里市

## 歴史民俗資料館だより

第27号  
平成28年3月

日本野鳥の会・佐賀県支部との協働事業

### 伊万里の野鳥探検隊

平成28年1月31日(日)



伊万里市歴史民俗資料館では平成 24 年度から日本野鳥の会・佐賀県支部と協働して、東山代町の長浜干拓地周辺で「伊万里の野鳥探検隊」という野鳥の観察会を行っています。

今年は平成 28 年 1 月 31 日に第 4 回目の観察会を行いました。約 1 時間の観察で、ミサゴやツクシガモなどの絶滅危惧種を含む 27 種類の野鳥を観察することができました。

身近な野鳥たちの生態を通して、あらためて伊万里市の環境などについて考えるよい機会になったと思います。本事業

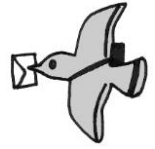
の開催にあたり、伊万里市立小中一貫校滝野校職員の方の山崎章弘様、日本野鳥の会・佐賀県支部の会員の方のみなさまのご指導とご協力を受けました。心から深く感謝を申し上げます。

(資料提供：馬場清さん)





## 皆さんからのおたより



### ●「鳥図の鳥たち 第11回」・・・山澤 健一さん（茨城県神栖市）

連載も今回で11回となり、この鳥図に掲載されている鳥さんたちも残り少なくなってきました。残り少ない鳥の中には標準和名が判らずに後回しにしている鳥さんたちがいますが、支部報204号の記事で青柳さんが紹介されていた「鳥名の由来辞典」を早速ネットで購入して調べてみました。この図譜にあった表記のうち「シトド」はアオジ類・ミヤマホオジロ、「マメトリ」はイカル、「アツ鳥」はアトリ、「シマヒヨトリ」はクロヒヨドリなどと推定できますが、チカラや川ヒバラは判りませんでした。

今回の鳥さんは表記で黄鳥・文鳥・マメトリの3個体です。黄鳥はコウライウグイス、マメトリはイカル、文鳥は飼い鳥のブンチョウです。



マメトリ（イカル）



黄鳥（コウライウグイス）



文鳥（ブンチョウ）

### ●「沖縄探鳥行」・・・宮原 明幸さん（佐賀市）

【探鳥地】沖縄北部 【日時】2月11日～14日

【参加者】鈴木紀久子、中島由美子、八木ひとみ、橋本泰博、宮原明幸

※ 掲載写真はすべて八木ひとみさんの撮影

『ヤンバルクイナを未だ見ていない』と、橋本さんよりお話しがあり企画しました。2月11日建国記念日 9時45分発の便で那覇へ。那覇は祭日絡みでごった返し、レンタカー待合所も長蛇の列です。最初は三角池（豊見城市与根にある遊水池）にアボセットが入っているとの情報で立ち寄ります。

あまり大きな池ではありませんがソリハシセイタカシギ、クロツラヘラサギ、セイタカシギ、アオアシシギ、ハシビロガモ、コガモ等々、入っています。

サシバも電柱に。越冬固体でしょうか？

いよいよヤンバルへ。

沖縄自動車道終点を下り『許田（きよだ）道の駅』で昼食を取ります。メニューは沖縄料理、テビチソバ・ソーキソバ、ゴーヤチャンプル、味は濃い目で大盛りでした。

道の駅の木立では、腹の白いリュウキュウメジロ、オキナワ



上からクロツラヘラサギ  
セイタカシギ  
ソリハシセイタカシギ

シジュウカラ、リュウキュウコゲラもチョロチョロ動いています。

国頭村（くにがみそん）森林公園へ。

旅行前の長期予報では、初日「晴れ時々曇り」2日～4日「雨」でしたが、直近の予報では4日目のみ「雨」に変わっています。当初は『琉球大演習林』に入る予定でしたがチョット余裕ができ『森林公園』で鳥見です。 入口に緋寒桜の林、紅色の花が盛りです。



リュウキュウメジロ

花には蜜を求めてリュウキュウメジロがたかっています。

森へ入ります。シロハラ・メジロ・ヒヨドリは沢山出ましたが、お目当てのアカヒゲは声だけ、ノグチゲラは影も形もありません。 イボイモリやモウセンゴケを観察しました。

宿は名護市の外れ、ヤンバルまでは1時間離れた『本部（もとぶ）グリーンパークホテル』です。 着いた時にはとっぴり暮れていました。

2日目、4時起床、ヤンバルクイナのポイントへ夜明け前に着けるように出発。

暗い中に着きます。其処此処に『ヤンバルクイナ飛び出し注意!』の看板が出て来ます。

減速して走ります。いきなり黒い影が前をよぎります。ヤンバルクイナです♪

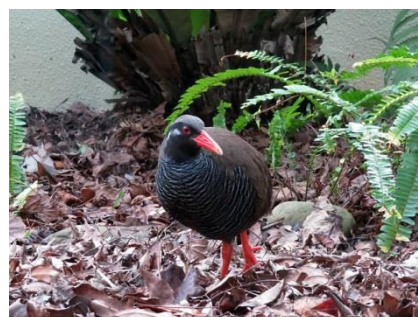
3～4羽よぎりましたが、速い! 猛ダッシュです。 明るくなって、ゆっくり車を流して探します。 豚舎、鶏舎、牛舎の点在する道を・・・臭い(涙)鼻がもげそうです。

リュウキュウハシブトガラス、シロハラ、リュウキュウメジロ、それにサシバはあちこち出ますが、ヤンバルクイナは出ません。 集落入口・橋手前の林でリュウキュウウグイス、カラ類の混群も動きます。 ヤンバルクイナは半ば諦め、車を降りて周辺探索

『ヤンバルクイナです!』 中島さんが突然声を上げられます!・・・道端に出ています。 太く真っ赤な嘴、胸から腹の縞模様、大きな足・・・私たちに気付いたのか?ゆっくり藪の中へ。その後は、現れません。



ヤンバルクイナ注意看板



ヤンバルクイナ



サシバ

他のポイント（安田（あだ））へも足を延ばしますがシロハラばかり。

昼食を取りに町へ戻ります。 途中、ヤンバルクイナ生態展示学習施設に立ち寄りしました。 クイナケージには『キョンキョン』と名付けられた人口孵化♀のヤンバルクイナが飼われています。 スタッフの方より生態の詳しい説明を頂きました。 ※入場料 500 円

「道の駅ゆいゆい国頭」で昼食（沖縄料理大盛り）をいただき、生態展示施設で教えてもらったアカヒゲのポイント比地（ひち）大滝（沖縄本島で一番大きな滝）へ。

『ノグチゲラの見られるキャンプ場よ!』と鈴木さんよりの情報もありました。

比地キャンプ場管理棟で500円の入場料を払い中へ。管理棟で受付の方に伺います。

『アカヒゲ見られますか?』…『運が良ければ』 『ノグチゲラは?』…『運が良ければ』との回答・・・運は良くありませんでした(笑)

滝に向かって歩き始めます。初めはなだらかな遊歩道が川沿いに・・・ところが先に進むに連れ大変! 上り下りの多くは階段で勾配も長さも半端じゃない! 周囲はヘゴや亜熱帯の植物相ですが観察する余裕など・・・大きなカメラをかついだ橋本さんリタイヤ、続いて中島さん・鈴木さん。ハーハー言いながらたどり着いたのは八木さんと2人、片道1時間弱かかりました(大汗) 途中、綺麗なグリーンのおキナワキノボリトカゲが観察出来ました。

2月だと云うのに下着1枚、喜如嘉(きじょか)の水田へクイナ類を探しに移動します。すっかり様変わりしています。リュウキュウヨシゴイの隠れていた田芋の畠は菊が栽培されています。他も埋め立てられ湿地面積は激減、残ったイ草やフトイ、ショウブの湿地を車で流します。

コガモ・オオバン・タシギ・セッカ・リュウキュウツバメ・・・

リュウキュウヨシゴイとクイナの仲間は駄目でした。

日暮れまでヤンバルクイナのポイントで粘り、ホテルへ。



オキナワキノボリトカゲ

3日目、ホテルを5時に出発 『琉球大学演習林(与那フィールド)』を目指します。

演習林にはハブが生息していますので夜明け前には入れません。

大学施設の駐車場に車を置き、徒歩で林内へ。イタジイやイジュなど亜熱帯性広葉樹が広がり、沢沿いに道が通っています。曲がり角毎に道で採餌する鳥がいなかチェックします。気付くのは鳥の方が早く、藪へ飛び込む影を見るだけです。

タンカン(亜熱帯性の柑橘)の捨てられた実の横に鳥影。藪が蔽ってそこだけ暗く、色は出ません。望遠鏡を合わせます、アカヒゲ♀です♪ 直ぐに飛び去ります。

タタタタ・・・大きなドラミング『ノグチゲラ♀』が出ます。アカヒゲが歌います。

サシバは普通の鳥になっています。ピリリピリリピリリ『リュウキュウサンショウクイ』が通過しました。カラ類の昆群、こちらは全部亜種♪ 橋本さん・八木さんは植物にも詳しくあちこちで道草。頭の上を赤茶の影が追い越して行き谷筋の木に。頭の赤いノグチゲラも随分長く見せてくれます。橋本さん、昨日の坂道に懲りて大きなレンズは車の中。悔やまれます。

金武(きん)へ。今日も道の駅で昼食を済ませ奥首川(おくくびかわ)河口の水田・田芋栽培地を回ります。出迎えは、水田に入ったヒバリシギ。大受撮では単独で見られますが群れています。シロチドリやハクセキレイも春の渡り出しでしょうか? 群れています。天気も良く、畑仕事の方が随分出ておられ、邪魔にならないよう畦をゆっくり流します。ホガラカな鳴き声、シロガシラが樹上で騒いでいます。小さな灌漑池にはオオバン、キンクロハジロ、畑にはハクセキレイの群れの中にツメナガセキレイ・タヒバリ。ヒシクイも3羽水田で休んでいます。

タカブシギ、イソシギ、水路ではアオアシシギ・セイタカシギ、タシギが採餌中。

アマサギが群れ、チュウサギもいます。時々、車道をマングースが通り過ぎます。ハブ退治で持ち込まれた獣ですが、命懸けでハブなんか食べませんよネ、既存の小動物や地上で営巣する鳥達の脅威となっただけです（怒）

上空は、ミサゴ、トビ、サシバ、ハヤブサも枯れ枝に止まっています。

海岸線にはクロサギ・・・等々、あっと云う間に時間が過ぎ暮れかかって来ます。

草むらに小鳥。スズメ？ シマキンパラ（アミハラ）です。シマキンパラを罫入りまで観察して3日目終了、よく遊びました。

晩御飯は、流石に沖縄料理の連続には厭き、イオンで済ませます。



ヒバリシギ



シロガシラ



ヒシクイ

最終日、またまた暗い中から動き出しヤンバルクイナのポイントへ・・・とうとうホテルを明るい時間に見ることはありませんでした。ロケーションが謳いでしたが(笑)・・・ライトの中をリュウキュウコノハズクが横切り、ヤンバルクイナの影も猛ダッシュ、明るくなったらピタッと気配が消えます。

途中、大きなハブの轢死体・・・皆さん長虫は苦手みたいで、橋本さんは姿も見たくないと・・・子供の頃は玩具でしたがネ(笑)

また鼻のもげそうな道を探し廻ります。楚洲（そす）あさひの丘（宿泊所）横のグラウンドにアカハラ3羽。臭いに負けずカメラマンは車外に出て被写体へレンズを向けられます。2日目にヤンバルクイナを見た所で甲高い鳴き声、道を挟んで別の個体も。鳴き交わしでしょうか？ 皆さん車より降り、周辺を探索。運転手は仮眠を取ります。

中島さんが小走りに戻って来られます「下の枯れ木にノグチゲラ♀がいましたよ♪」

早速車を回します。河原まで下りますが居ません飛んでしまったのでしょう、Uターンして戻ります。リュウキュウアサギマダラが飛んでいます。枯れ木の中に赤茶色の影！

ノグチゲラ♀ 橋本さん500mmのレンズにしっかり収められ、雪辱を果たされました。

小雨が落ちて来ました。豚舎の横の牧草地には、シロハラクイナ。車に気付くゆっくり草藪の中へ。その先の藪の枯れ枝でまたまたノグチゲラ♂ こちらは近過ぎて車からは出られません。

タン！乾いた音。鉄砲？「有害鳥獣駆除」のステッカーを貼った四駆とすれちがいました。対象はリュウキュウハシブトガラスで何羽か死体があります。確かに、畜舎の多いせいかカラスは沢山います。喜如嘉の水田を一巡りした後、金武で飛行機の時間までを過ごします。



ノグチゲラ

あんなに多かったハクセキレイは、ごっそり数を減らしています。抜けたのでしょうか？  
時間の許す限り金武で鳥を楽しみ、旅を終えました。

今回、橋本さんのご参加で車中の会話は生粋の佐賀弁！ 北九州育ちの鈴木さん、半分も解らんやったそうな（笑）・・・そいぎい！

【観察出来た鳥】ヒシクイ、ツクシガモ、ハシビロガモ、コガモ、ヒドリガモ、キンクロハジロ、アマサギ、コサギ、チュウサギ、ダイサギ、クロサギ、アオサギ、クロツラヘラサギ、オオバン、バン、ヤンバルクイナ、シロハラクイナ、コチドリ、シロチドリ、ムナグロ、ヒバリシギ、タカブシギ、イソシギ、アカアシシギ、タシギ、セイタカシギ、ソリハシセイタカシギ、ミサゴ、トビ、サシバ、ハイタカ、ハヤブサ、リュウキュウコノハズク、カワセミ、カラスバト、リュウキュウキジバト、ノグチゲラ、リュウキュウコゲラ、リュウキュウツバメ、ツメナガセキレイ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、リュウキュウサンショウクイ、シロガシラ、リュウキュウヒヨドリ、ホントウアカヒゲ、ジョウビタキ、イソヒヨドリ、アカハラ、シロハラ、ツグミ、リュウキュウウグイス、セッカ、オキナワシジュウカラ、アマミヤマガラ、リュウキュウメジロ、アオジ、スズメ、リュウキュウハシブトガラス、シマキンパラ（アミハラ）

★八木ひとみさんのインターネットアルバム「デジブック」で今回の沖縄探鳥行の写真を  
スライドショーでご覧いただけます。 下記のアドレスからどうぞ ♪

『 沖縄探鳥 前編 』

<http://www.digibook.net/d/3494c5bfb00ab4e5b7909ad6cc9656cc/?m>

『 沖縄探鳥 後編 』

<http://www.digibook.net/d/c4558973b18c9ea52b579242cc9616c8/?m>

『 鳥見 2月、3月 』（おまけです）

<http://www.digibook.net/d/a485edf380cfbeac34da12d4748c56ca/?m>

## ● 「庭に来る鳥たち」・・・永島 博さん（佐賀市）

この冬、庭にえさ場と水浴び場を設けてみました。

まずは、ジョウビタキとヒヨドリの水浴びのシーンです。ジョウビタキは、水につかった  
まま羽を何回もばたつかせてしばらくの間水浴びをします。 とても可愛らしいです。

ヒヨドリは、水に飛び込んだかと思えば、羽をばたつかせすぐに上がってきます。

ほんの一瞬です。それを4～5回繰り返します。 大きいだけに豪快です。

鳥によって、いろいろやりかたがあるようです。

スズメは団体でやってきては、騒ぐだけ騒いで汚すだけ汚して帰っていきます。

「立つ鳥跡を濁さず」といいますが、これはスズメのことではないですね。

シジュウカラもいるのですが、遠くから見ていただけでなかなかやってきません。

スズメと仲が悪いのでしょうか？ みかんにはヒヨドリもやってきますが、さすがのシロハラもヒヨドリにはかなわないようです。 メジロも結構負けん気が強くて、隙あらば横取りしようとねらってます。 その攻防戦は見てて楽しかったです。

毎日の掃除が大変でした。 えさはホームセンターで売っている「野鳥のごちそう」、ひまわりの種、牛脂（砂糖を混ぜたもの）、みかんです。



水浴び：ジョウビタキ



ヒヨドリ



スズメ・メジロ・シロハラ



## 皆さんからの野鳥&生きもの情報



### ■松田 信義さん（佐賀市）

3月12日 【佐賀空港】 オオカラモズ

3月19日 【佐賀空港】 ギンムクドリ♀

5月9日 【佐賀空港】 オオヨシキリ



オオカラモズ



オオヨシキリ

### ■八木 ひとみさん（佐賀市）

4月17日 【福富町】 オジロトウネン、タカブシギ、セイタカシギ、ツルシギ



オジロトウネン



タカブシギ







# さやかの「フィールドノート」

【画：中村さやかさん（鹿島市）】

## 2016.3.13 (Sun)



大塚 翔 佐賀市  
Daijyugahami, Saga City, JAPAN  
Am 10:00 - 12:00 中瀬

日本野鳥の会 佐賀県支部 観察会

### Today's List ↓

- ミヤコドリ Oystercatcher ⑥ wintering
- シロキドリ Kentish Plover wintering
- ×クイキドリ Lesser Sand Plover wintering
- グイゼン Grev Plover wintering about 700
- ハマシギ Danlin wintering about 5000
- オバシギ Great knot ① wintering
- エハマシギ Ruff migration
- オオハシギ Long-billed Dowitcher wintering
- ツルシギ Spotted Redshank ① wintering
- アオアシギ Common Greenshank wintering
- オソリハシギ Bar-tailed Godwit ① migration
- クイシャクシギ Eurasian Curlew wintering
- ホウロクシギ Far Eastern Curlew migration
- クワクシギ Wood Sandpiper ① migration
- ヘラサギ Eurasian Spoonbill ① wintering
- クロツラヘラサギ Black-faced Spoonbill wintering
- ズグロカモ Saunders' Gull wintering
- ツクシガモ Common Shelduck wintering

I'm home

Bar-tailed Godwit  
Welcome to Japan

お帰りなさい...!  
今年も春の帰りが  
スタートです。  
オソリハシギが  
帰ってきましたよ。



Saunders' Gull  
ズグロカモ

ぶっしにして  
おもしろい顔

目の回りだけ白いは  
何か意味が  
あるのだろうか...  
大塚には 今日  
500羽くらいいました

### その他 Other

- ズグロカモ
- オオソシガモ
- ヒバリ
- グイゼン
- オオセグロカモ
- ヨシガモ
- ハクセキレイ
- ハシボソガラス
- コガモ
- ミサコ
- オオシロイン
- ハシブトガラス
- オオガガモ
- トセ
- スズメ
- カウ
- ヒドリガモ
- ツバサ!!
- アオサギ

初見

### 干潟 エキ公園

- ツグミ
- モズ
- シロハラ
- ムクドリ
- アオシ
- セヨドリ
- キジバト
- ジョウビタキ





## 近隣地区の観察会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報  
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

### ■日本野鳥の会 福岡支部 (参加費：会員 100 円 一般 300 円 中学生以下無料)

日時：6月5日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・今津、雨天中止 / 集合：9:00 玄洋高校北西の端道路

日時：6月7日(火) 10:00～ (定例探鳥会) ※集合時間にご注意を！

場所：春日市・春日公園、雨天中止 / 集合：10:00 旧公園管理センター前 (第5駐車場横)

日時：5月14日(土)、6月11日(土) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・大濠公園、雨天中止 / 集合：9:00 公園ボート乗り場前

日時：6月12日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・和白海岸、雨天中止 / 集合：9:00 JR 和白駅前の和白公園

日時：5月15日(日)、6月19日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：筑紫野市・天拝山、雨天中止 / 集合：9:00 天拝山歴史自然公園水上ステージ横

日時：5月22日(日)、6月26日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福津市・久末ダム、雨天中止 / 集合：9:00 久末ダムの多目的広場横の駐車場

### ■日本野鳥の会 筑後支部 (参加費：会員 100 円 一般・中学生以上 200 円 中学生下無料)

日時：5月15日(日) 9:30～ (バードウィーク探鳥会) ※弁当が必要です

場所：古処山(朝倉市) / 集合：9:30 朝倉市秋月の秋月公営駐車場(秋月バス停前)

担当：木原直人さん 携帯：090-4516-4467

日時：5月15日(日) 9:00～ (バードウィーク探鳥会)

場所：高良山(久留米市) / 集合：9:00 久留米市高良内小学校・体育館側駐車場

担当：溝田泰博さん 携帯：090-4357-3043 松富士将和 携帯：090-7159-3933

日時：5月15日(日) 9:00～ (バードウィーク探鳥会)

場所：清水山(みやま市) / 集合：9:00 みやま市・清水寺本坊庭園入口駐車場

担当：江口浩喜さん 携帯：090-4516-1123

日時：5月22日(日) 9:00～ (定例探鳥会)

場所：大牟田市・濃施山公園 / 集合：9:00 濃施山公園内すいせん橋

担当：野田達行さん TEL：0944-58-1672

## 沖縄探鳥行写真 part 2

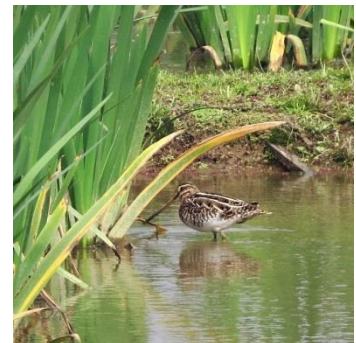
(撮影：八木ひとみさん)



コチドリ



チュウサギ



タシギ

### ～編集部からのお知らせ～

①詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

②投稿・ご意見などをお寄せください。(編集部：馬場順一)

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯:090-5084-2649

(Eメール) [f\\_baba841@ybb.ne.jp](mailto:f_baba841@ybb.ne.jp)

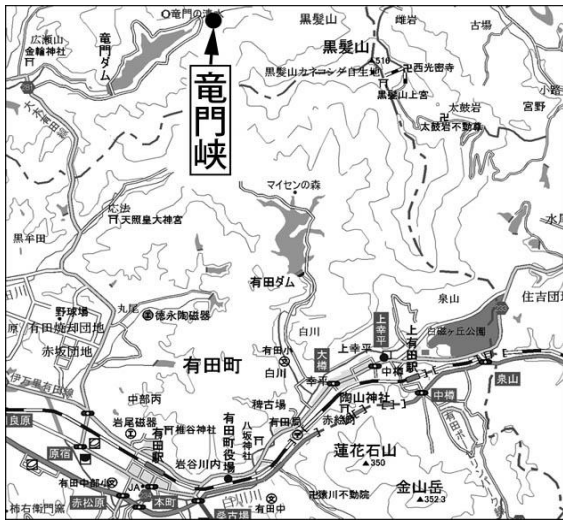




## 観察会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

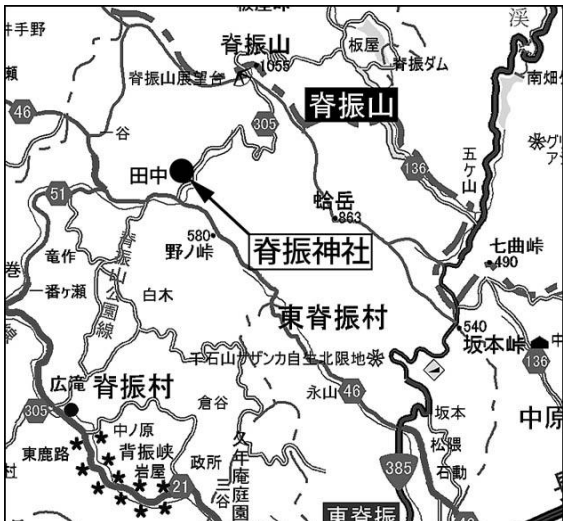
### ①5月29日 有田町・龍門峡



### ③6月5日 佐賀市・石井樋公園



### ④7月17日 神埼市・脊振山



### ⑤7/24 佐賀市・東よか干潟



支部会員の方がインターネットで発信しているホームページ、ブログなどを紹介します。

「日本野鳥の会佐賀県支部（公式）ブログ」・・・中村さやかさん

<http://blog.goo.ne.jp/sayatit2000>

「野の花大好き」・・・丹羽昭一さん

<http://blogs.yahoo.co.jp/sy111ss>

「ヒロちゃんの花と鳥日記」・・・橋本泰博さん

<http://hana-tori.cocolog-nifty.com/blog/>

「山のくまさん鳥日記」・・・加藤芳隆さん

<http://kamimine.cocolog-nifty.com/>

「みんなのデジブック広場-サリーさんのデジブック」・・・八木ひとみさん

<http://www.digibook.net/c/214bf34c23e6032c3c91284000102cc1/>





## 観察会などのご案内 (2016年5月下旬～7月)

### ①5月29日(日)

#### 有田・竜門峡観察会(有田町)

[集合] 8:00 有田町 竜門峡駐車場  
 [担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085  
 [見どころ] アカショウビン、サンコウチョウ、オオルリなどを観察。ヤイロチョウの声も聴けるといいですね  
 ※観察会終了後、支部総会を行います。詳しくは3ページをご覧ください。

### ②5月29日(日)

#### 2016年度佐賀県支部総会

[開始時間] 10:00 有田町・竜門キャンプ場  
 「山の家」2階講習室  
 ※竜門峡観察会終了後に行います。支部会員の方ならどなたでも参加できます。多くの皆さんの参加をお待ちしています。  
 ●「支部総会議案書」をご持参下さい。

### ③6月5日(日)

#### 石井樋公園観察会(佐賀市)

[時間&場所] 8:00  
 佐賀市大和町 石井樋公園「水ものがたり館」  
 [担当] 青柳 良子さん(小城市)  
 [携帯] 090-1659-7353  
 [見どころ] 鳥たちは子育ての真っ最中と思います。そつと観察しましょう。

### ④7月17日(日)

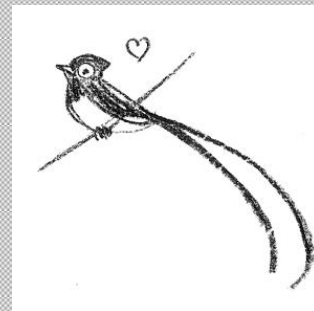
#### 脊振山観察会(神崎市)

[時間&場所] 08:00  
 神崎市脊振町腹巻の脊振神社下宮駐車場  
 [担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085  
 [見どころ] 梅雨明け直後の夏山。鳥たちの暮らしぶりを観察しましょう。  
 夏の草花たちもたくさん観察できるでしょう。

### ⑤7月24日(日)

#### 東よか干潟(大授瀬)観察会(佐賀市)

[時間&場所] 10:00  
 佐賀市東与賀町 東よか干潟展望台  
 [担当] 田中丸 雅雄さん(佐賀市) 080-1707-9225  
 加藤 芳隆さん(上峰町) 090-4510-1560  
 [見どころ] 早くもシギ・チドリたちが、北→南への渡りの時期です。



## 共通事項

- ① 資料代、保険代として100円頂戴しています。
- ② 雨天中止。(前夜18:55のNHK天気予報で降水確率50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～  
 公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル  
 電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636  
 日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸  
 事務局：中村さやか (☎ 0954-60-4424 携帯：080-8863-5659)  
 〒849-1315 鹿島市三河内2974-1  
 郵便振替 01710-8-82339 「日本野鳥の会佐賀県支部」